

「学生による授業評価(後期)」アンケート調査結果報告

「学生による授業評価」アンケート調査結果の概要を、今月は報告します。データ分析は、集計・分析を委託した(株)日経リサーチによるものです。

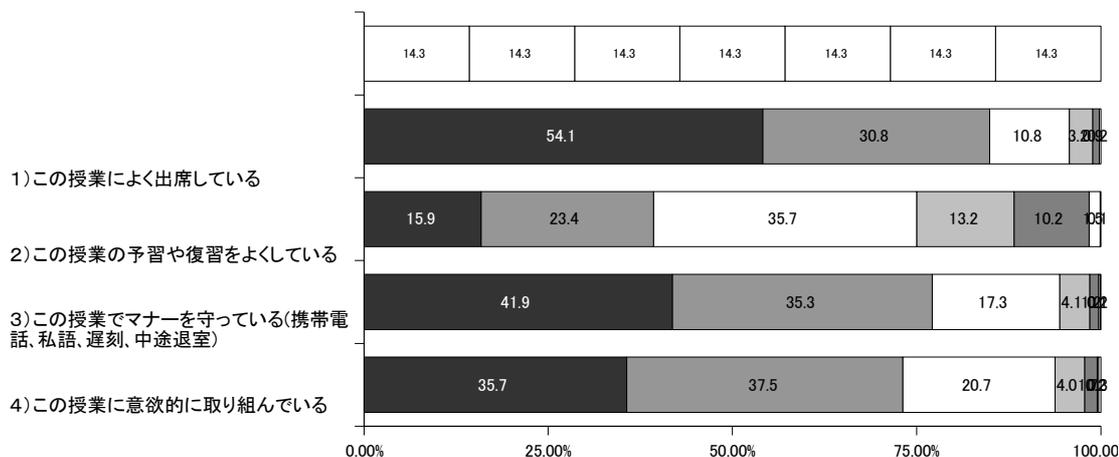
調査概要

【調査実施時期】	2006年12月4日(月)～12月8日(金)
【調査対象】	姫路獨協大学の全学生
【調査方法】	授業出席者に対して配布、授業時に回収
【調査内容】	授業内容、授業方法・授業態度、授業成果、受講態度の評価
【調査回収サンプル数】	合計 16698サンプル※ (総配布サンプル数 33477 回収率 49.9%)

学部別-----	学年別-----
外国語学部 5156	1 年 6298
ドイツ語学科 282	2 年 4427
英語学科 2594	3 年 3758
中国語学科 497	4 年 2044
日本語学科 1098	※学科、学年が未記入のものを含む。
国際文化コミュニケーション専攻 273	
スペイン語学科 243	
韓国語学科 169	
法学部 4390	
法律学科 4390	
経済情報学部 4902	
経済情報学部(1, 2年) 2888	
経済情報学科(3, 4年) 1341	
経営情報学科(3, 4年) 673	
医療保健学部 2096	
理学療法学科 511	
作業療法学科 455	
言語聴覚療法学科 249	
こども保健学科 431	
臨床工学科 450	

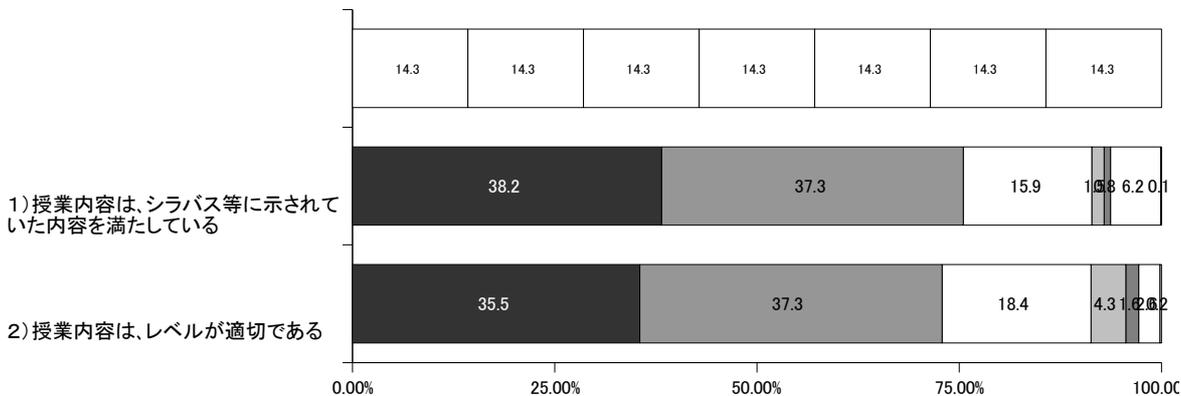
<受講態度について>

○『この授業によく出席している』についての自己評価は、「非常にそう思う」が54.1%と半数以上を占め、「そう思う」の合計でも84.9%とアンケート回答者の授業の出席率の高さがうかがえる。
 ○次いで自己評価の高いものは『この授業でマナーを守っている(携帯電話、私語、遅刻、中途退室)』で「非常にそう思う」は41.9%、「そう思う」の合計は77.2%と、7割以上は受講態度に対する評価が高い。
 ○『この授業に意欲的に取り組んでいる』では73.2%が「そう思う」としている一方で、『この授業の予習や復習をよくしている』については39.3%と自己評価は低く、授業時間以外に学習に望む姿勢の弱さが感じられる。



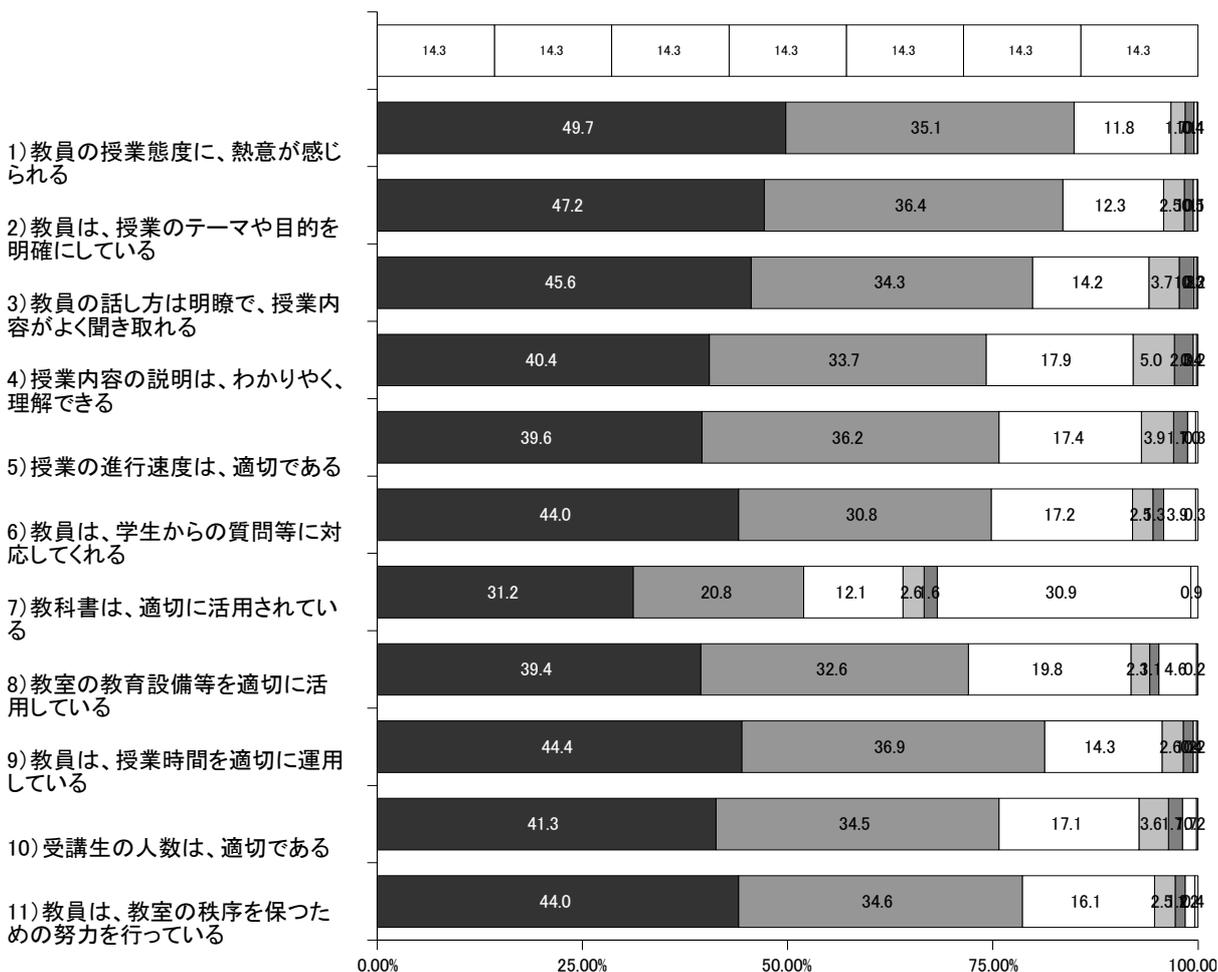
<授業内容について>

○『授業内容は、シラバス等に示されていた内容を満たしている』という質問に対し、「非常にそう思う」と「ある程度そう思う」の合計は75.5%。7割以上は『授業内容はシラバスの内容を満たしている』と評価している。
 ○『授業内容は、レベルが適切である』という質問に対し、「非常にそう思う」と「ある程度そう思う」の合計は72.8%。やはり7割以上が『レベルが適切である』と評価している。



<授業方法・教員の授業態度について>

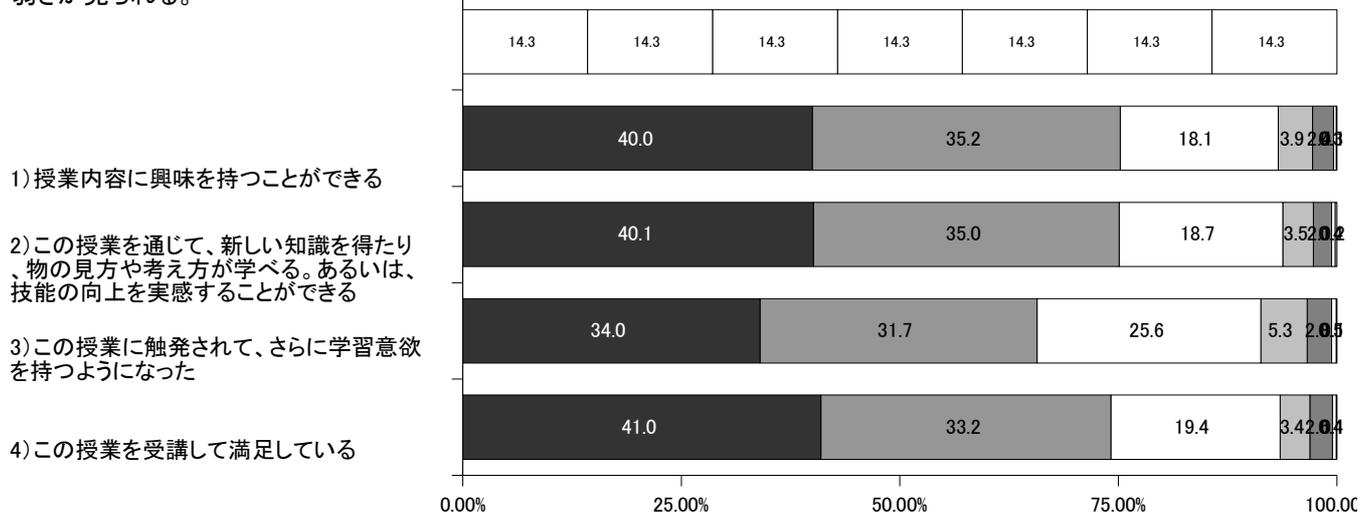
○教員の授業方法・教員の授業態度では、『教員の授業態度の熱心さ』という質問に対し「非常にそう思う」が49.7%と最も高くなっている。次いで『授業のテーマや目的の明確さ』でも「非常にそう思う」が47.2%と高い。
 ○『授業時間の適切な運用』でも「非常にそう思う」と「ある程度そう思う」の合計が8割を越え、評価が高くなっている。
 ○『教科書の適切な活用』では「そう思う」の合計が52.0%と、やや低い評価となっている。



<授業による成果について>

○『授業内容に興味を持つことができる』『この授業を通じて、新しい知識を得たり、物の見方や考え方が学べる あるいは、技能の向上を実感することができる』では「そう思う」の合計は7割以上となっている。また『この授業を受講して満足している』でも「そう思う」の合計は74.2%で7割以上となっている。

○『この授業に触発されて、さらに深く学習したい』では「そう思う」の合計が65.7%とやや低く、自発的に学習に臨む姿勢には弱さが見られる。



■データ分析

全体データ-----

●受講態度について

授業の出席や受講態度については自己評価は特に高く、また授業に対して意欲的に取り組んでいるという自覚もあるものの、授業の予習・復習に対する評価は低く、自己学習に対しては消極的な姿勢が見られる。

●授業内容・授業方法・授業態度について

授業態度の熱心さ、学生への対応といった教員への評価は高く、授業テーマや目的、授業時間の運用、説明のわかりやすさなど授業方法に関しても高い評価となっている。授業内容についても内容を満たし、レベルも適切であると評価されている。さらなる満足度向上のためには、授業で用いる教科書をより適切に活用することが望ましい。

●授業による成果について

授業内容に興味を持てる、授業の成果を実感できると積極的に評価している（「非常にそう思う」と回答している）のは約4割。また、授業に触発されてさらに深く学習しようと自発的・意欲的に学習に取り組む姿勢は34.0%と低くなっている。

属性別データ-----

●学部別

内容・方法・成果では外国語学部が最も高く、次いで医療保健学部、法学部、経済情報学部の順となる。受講態度については医療保健学部、外国語学部、経済情報学部、法学部の順で評価が高い。

●学年別

留学生の評価が特に高い。学年間では内容・方法・成果で4年の評価が最も高く、2年の評価が低い。受講態度については1年の評価が最も高く、学年が上がるにつれて低くなっている。